

未知の宮戸島ウォーク①

令和5年9月30日



秋の涼しい気配が漂う中、未知へのウォーキングがスタートしました。曇り空で、普段よりも1枚多く上着を羽織っていた参加者の皆様からは、「歩いて体が熱くなり、時折吹く風がとても気持ちいい。」という声も聞かれました。

今回のウォーキングコースは、昔からずっと続く宮戸島と寒風沢島のつながりを参加者の皆様に感じてもらえるように設定した未知のコースです。宮戸島では、行きは、縄文村歴史資料館様から渡船が行われてきた鱈ヶ淵水道までの道のりを、帰りは、縄文時代から今なお続く風景の残る里浜史跡公園を歩きました。寒風沢島では、田園風景や前浜の浜辺、明神社、砲台跡、しばり地蔵様、十二支方角石、化粧地蔵様、延命地蔵様、六地蔵様など生活模様や歴史が感じられるところを見て回り、旧浦戸第一小学校の跡地である浦戸寒風沢ステイ・ステーション様で休憩をとりました。

利用者の皆様からは「今回の企画最高でした。宮戸島・寒風沢島のすばらしい歴史を堪能できました。また参加したいです。ボランティアの方にも感謝したいです。」「縄文時代や江戸時代の文化にも触れることができるととても楽しかったです。」「自然だけでなくお話が楽しかったです。」などの声が聞かれました。参加していただいた皆様、ありがとうございました。未知の宮戸島ウォーク②も楽しみにしててください！

最後になりましたが、講師を務めていただいた木島新一様、関口英樹様、渡船で協力をいただいた桜荘の櫻井幸作様をはじめ、活動を支援していただいた多くの皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

